

第43回西日本軟式野球大会 対馬予選会の結果

【1部・2部の同日開催】

会期 令和3年3月7日(日)

会場 美津島野球場

2部 (C級)

対馬・J	4	
ドンジャース	3	7
豊玉町野球部		8

1部 (B級)

制覇クラブ	0	
厳原マリナーズ	10	8
厳原ブラボー		2

①【2部一回戦】08:57～ 1時間35分

ドンジャース	102 000 0	3	【二】田口
対馬・J	030 000 1x	4	

3-3同点で七回裏の対馬・Jは先頭四球後の二死二塁に小島が右サヨナラ打。初回の1失点を追う二回の対馬Jは先頭から連続死四球に黒岩が三塁前バント安打の無死満塁から白濱の中安打。二走は本塁死し、続く多田が右前打の満塁に江口の四球押し出し。二死後に小島も四球押し出しで3得点。ここで代った市山からは六回までに1敵失走者しか出せなかった。

ドンジャースは初回到先頭の長岡が安打した二死三塁に遊ゴロ捕球失で先制。三回到先頭永留の安打と田口が右中間二塁打の一死二三塁に市山が左2点打で同点としたが続く投ゴロ併殺で追加点なし。四回は築城の先頭安打(敵失二進)や、四回到永留、市山が安打の二死二三塁に、最終七回は2敵失1四球の二

【ドンジャース】 打安点球

④6 長岡 亮	4 1 0 0
⑨ 田口 一成	4 1 0 0
⑥1 市山 和希	3 2 2 1
⑤ 平松 馨	4 0 0 0
② 築城文士郎	4 1 0 0
⑦ 黒岩 洋介	3 0 0 0
①3 阿比留正臣	3 2 0 0
⑧ 阿比留正成	3 0 0 0
③4 永留 潤也	3 2 0 0
犠0振4残8併1	31 9 2 1

【対馬・J】 打安点球

② 江口 豊隆	3 0 1 1
⑧ 平松 啓一	4 0 0 0
⑨3 小島 一輝	3 2 2 1
① 井 浩	2 0 0 1
⑥ 坂上 仁志	2 0 0 1
③ 中庭美智雄	1 0 0 1
9 吉田 稔	1 0 0 0
⑦ 黒岩 到	3 1 0 0
⑤ 白濱憲一郎	3 1 1 0
④ 多田 直樹	2 1 0 1
犠0振3残5併0	24 5 4 6

死満塁も後続が無く勝ち越し点が無く、サヨナラ敗戦した。

【審判】西川典夫、谷本優太、中島重幸、多田康佑

③【2部代表決定戦】12:10～ 1時間35分 【三】松本、犬東、横瀬

対馬・J	004 210 0	7	【二】小島、横瀬、村瀬
豊玉町野球部	001 520 X	8	森、扇

一回戦から勝ち上がりの対馬Jが先手、中押しと優位に進めたが最後は力尽きた。三回の対馬Jは先頭四球と犠打失に死球の無死満塁に、平松の中適時打と小島が走者一掃の左線二塁打で4得点。四回は白濱の安打と死球に2連続敵失が絡み二ゴロ野選で2点を追加。同点とされた五回は代った樋口から二死後に連続死四球を得、多田の左前打で1点を勝ち越したが…

豊玉町野球部は三回到先頭の松本が左中間三塁打。扇の投前スクイズで反撃開始。四回には先頭の犬東が左中間三塁打。横瀬、村瀬の連続二塁打。二死後に四球(二盗)の二三塁に扇の右2点打。岩佐も右中間二塁打と5長短打で5得点し同点とした。1点差を付けられた五回は先頭で中二塁打の森を、一死後に横瀬の左三塁打で返し、村瀬の三ゴロで決勝点を挙げた。

【対馬・J】 打安点球

② 江口 豊隆	3 1 0 1
⑧ 平松 啓一	4 1 1 0
⑨34 小島 一輝	4 1 4 0
① 井 浩	3 1 0 1
⑥ 坂上 仁志	4 0 0 0
③9 吉田 稔	4 0 0 0
⑦ 黒岩 到	3 0 0 1
⑤ 白濱憲一郎	2 1 0 2
④ 多田 直樹	1 1 1 0
3 中庭美智雄	0 0 0 0
H 高島 隆宏	1 0 0 1
犠1振2残8併0	29 6 6 6

【豊玉町野球部】 打安点球

⑥ 扇 祥喜	3 2 3 0
⑧ 岩佐 太陽	4 1 0 0
③ 森 俊介	3 1 0 1
⑦ 犬東 伊理	4 1 0 0
⑤1 横瀬 弘樹	3 2 2 0
② 村瀬 裕亮	3 1 2 0
④14 樋口 和	3 0 0 0
⑨ 斉藤 公敬	2 0 0 0
9 斉藤 良樹	1 0 0 0
①4 松本 拓之	1 1 0 1
5 梅野 譲治	1 0 0 0
犠1振0残5併0	28 9 7 2

六回到先頭の扇が中二塁打するも三進しただけ。

【審判】吉野徹、小西清弘、藤島隆之、高原吉弘



2部予選会で優勝の豊玉町野球部は4月17日、18日に島原市で開催の長崎県大会に対馬支部代表で参加する

②【1部一回戦】10:45～ 1時間09分 五回コールドゲーム

制覇クラブ	000 00	0
敵原マリナーズ	116 2X	10

【三】武本

初回到武本の先頭安打から得た二死二塁に外飛失で先取点のマリナーズは、二回も先頭敵失出塁から三進後に暴投生還で加点。三回には先頭武本の右中間三塁打から四球と三ゴロ野選に敵失。さらに一死二三塁から三ゴロ野選。四球を間の満塁から内野ゴロ失や武本の右犠飛など打者11人で6得点。四回に代わった春田からも小山が先頭安打。連続遊ゴロで走者が代った二死一塁から井上の遊内野安打、朝妻と多々良の連続中適時打など3連打で2点を加えた。

制覇クラブは初回一死後に四球も二進のみ。二回二死後に高原、春田朱が連打も進塁できず。三～五回は三者凡退で三塁を踏むことができずに10点差コールドで完敗した。

【制覇クラブ】打安点球 【敵原マリナーズ】打安点球

⑧ 小西 清弘	2 0 0 0	⑧ 武本龍太郎	2 2 2 0
⑥ 小宮 茂輝	1 0 0 1	⑨ 原田 育弥	2 0 0 1
⑤3 山坂 真心	2 0 0 0	⑦ 小山 耕平	3 1 1 0
③5 梅野 恭平	2 0 0 0	③ 神宮大司朗	3 0 0 0
⑦ 小宮 良太	2 0 0 0	3 鬼橋 佑介	0 0 0 0
② 春田 剛希	2 0 0 0	② 坂上 海翔	3 0 0 0
①9 高原 吉弘	2 1 0 0	⑥ 井上 智仁	3 1 1 0
⑨1 春田 朱哉	2 1 0 0	④ 朝妻 直斗	2 1 1 1
④ 春田 龍馬	2 0 0 0	① 多々良遼平	3 1 1 0
犠0振3残3併0	17 2 0 1	⑤ 西山 開斗	3 0 1 0
		犠1振2残5併0	25 6 7 2

【審判】波多野幹治、ドンジャース2名、藤島隆之

④【1部代表決定戦】13:58～ 1時間17分

敵原ブラボー	000 011 0	2
敵原マリナーズ	000 602 X	8

【二】阿波

神宮、小山

三回までの敵原マリナーズは3三振の三者凡退。四回一死後に悪送球で最初の走者。小山が安打した二死一二塁から二者連続四球で押し出しの先取点。続く西山が左に2点打し敵失で再び満塁に鬼橋が四球押し出しで4点目。武本の左飛失で二者が還って一挙6得点した。

五回一死後にも神宮が右中間二塁打したが後続が無く、六回は二死後に武本が安打。二盗後に敵失で還り、二進した武本は小山の左線二塁打で還り、この回に2点を追加した。

敵原ブラボーは前年の天皇賜杯代表で今季にB級初昇格だったが初戦を飾れなかった。三回に諫山、小宮の安打(二盗)で二死二三塁の先制機を逸すると、6点差を追う五回に先頭の阿波が左越え二塁打。三進後に諫山の二ゴロで還ると、六回には代った福永から一死後に山口が死球。二盗後に井の左前打で4点差にしたが、再び6点差にされた七回は代った多々良に対して

【敵原ブラボー】打安点球 【敵原マリナーズ】打安点球

⑤ 小宮 博輝	3 1 0 0	⑧ 武本龍太郎	4 1 0 0
⑥ 山口 真吾	2 0 0 1	⑨ 原田 育弥	4 0 0 0
④ 井 聡裕	3 1 1 0	⑦ 小山 耕平	4 2 1 0
⑧ 濱口 凌太	3 0 0 0	③ 神宮大司朗	4 1 0 0
① 中屋 隆太	3 0 0 0	② 坂上 海翔	2 0 0 1
⑦ 阿波 和弥	3 2 0 0	⑥ 井上 智仁	1 0 1 2
③ 坂上 翔夢	3 0 0 0	⑤ 西山 開斗	3 1 2 0
② 諫山 祐也	3 1 1 0	① 山本 卓	2 0 0 0
⑨ 多田 康祐	3 0 0 0	14 福永 誠周	1 0 0 0
犠0振1残4併0	26 5 2 1	④ 鬼橋 佑介	1 0 1 1
		H 阿比留 舜	1 0 0 0
		1 多々良遼平	0 0 0 0
		犠1振3残5併0	26 5 5 4

先頭の阿波が左線打するも後続の3人が飛球に倒れた。

【審判】川崎仁、波多野幹治、豊玉町野球部、対馬J



1部予選会で優勝の敵原マリナーズは4月17日、18日に佐世保市で開催の長崎県大会に対馬支部代表で参加する。

昨年大会では5年連続12回目の西日本1部県大会出場だったが
新型コロナウイルス感染拡大で西日本大会が中止となり、県大会も中止された。